

# relation@

くすの木病院 地域連携だより「りれーしょん」



麻酔科常勤医師  
入職

2024  
秋  
号

# 麻酔科常勤医師 入職

令和6年9月1日より、麻酔科 常勤医師 大谷 十茂太 医師が入職しました。



Profile

麻酔科  
大谷 十茂太  
OTANI TOMOTA

日本麻酔科学会麻酔科専門医

- 1996年 大阪大学医学部医学科 卒業
- 1996年 済生会中津病院
- 1997年 大阪大学医学部附属病院
- 1998年 国立呉病院
- 1999年 大阪府立中河内救命救急センター
- 2001年 国立病院機構呉医療センター
- 2006年 千葉県こども病院  
千葉県循環器病センター
- 2007年 組合立諏訪中央病院
- 2017年 聖隷浜松病院
- 2024年 医療法人社団 三思会 くすの木病院

## ご挨拶

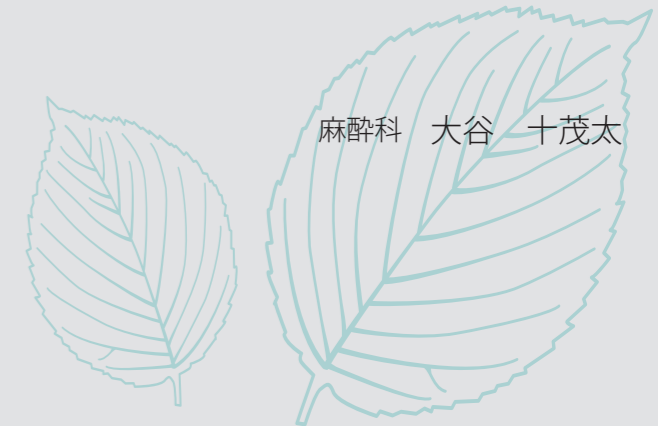
令和6年9月1日付で、くすの木病院麻酔科に入職した大谷十茂太と申します。医師になって最初は麻酔科医として研修を始めましたが、一年でやめた後数年間他科を転々とさまよいました。とあるきっかけから麻酔科再研修をすることになり、それからは麻酔科医を続けています。再研修までは関西地方におり、島根医大、広島大の先生方から当時お教えいただいたことが、自分の技術の礎となりました。

途中脱落したせいもあって、ずっと研修医のような気持ちでいましたが、いつの間にか三十年くらい経ってしまいました。時間の過ぎ方が年齢とともに加速することを、否応なく思い知らされます。

麻酔科医として何のサブスペシャリティも持っておらず、手術麻酔しか出来ないことに引け目を感じているのですが、「くすの木病院で手術を受けたが、思っていたよりは楽だった」と患者さんに言ってもらえるよう工夫を凝らすつもりです。

病院としても、少しずつ手術症例を増やしてゆきたいと考えております。そのためには、マンパワーを充実させることが何よりもまず必要です。手術室というと、延々と時間外勤務が続くことを懸念される方もおいでだと思います。僕が今まで勤務してきた病院もそうでした。くすの木病院では、出来る限りそうならないような手術枠組みを作ることを目指しています。ですから、手術症例を増やすといっても、「どんどん」ではないのです。時間外勤務を最小限に抑えつつ件数を増やそうという、少々欲張った目標を掲げています。

どうか、今まで以上に、手術を必要とする患者さんのご紹介をお願い申し上げます。



消化器外科 森島 巖 <副院長>

当院では令和6年9月より大谷先生（麻酔科）が常勤となりました。今までは主に定期手術のみ行ってきましたが、緊急手術に対応できる体制が整ってきました。私が一般外科、消化器外科手術、飯野先生が乳腺、甲状腺外科手術、小泉先生（非常勤）が血管外科手術を担当しています。

一般、消化器外科手術の手術実績としては、胃癌、大腸癌、直腸癌、穿孔性十二指腸潰瘍、急性虫垂炎、胆石症、鼠径ヘルニア、イレウス、転移性肝腫瘍、腹壁癒痕ヘルニア、直腸脱、CVポート造設術等、鏡視下手術では腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下ソケイヘルニア根治術、腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア根治術、腹腔鏡下虫垂切除術を行っています。手術術式はガイドラインに沿って決定していますが、ご高齢の患者さんや合併症の多い患者さんが多いため、なるべく術後のADLを損なわないような術式の選択と周術期の工夫（手術時間の短縮、出血やリンパ漏の軽減、合併症のない確実な手術、手術後の早期離床）を心掛けています。今後とも、少しでも地域医療に貢献できるように頑張っていきたいと思っておりますので、医療連携の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科 海老原 吾郎

令和6年9月から麻酔科の大谷先生に赴任していただき、手術枠が週1~2日から週3~4日に増えました。手術枠が増えたことから休日、夜間であっても大腿骨近位部骨折に関しては積極的に入院を引き受けること、また、その他骨折に関しても、整復や固定をしていただければ入院を受けることが医局会で決定しております。ぜひご紹介いただけますよう、よろしくお願い致します。

手術を必要とする患者様のご紹介をお願い申し上げます

地域連携室 直通TEL : 0274-37-2060

お電話受付時間 平日（月～金曜日）9：00～17：00 第1・3・5土曜 9：00～12：00



# もっと伝えたい! 「手術室」

患者様との関わりを大切にしています

9月1日付で、麻酔科の大谷 十茂太医師が常勤医として着任致しました。手術日が拡大され、手術患者様をさらに受け入れやすくになりました。整形外科や消化器外科の緊急手術にも対応していきます。

手術室では、麻酔科医をはじめ、主治医、病棟・手術室看護師など多職種が役割分担を行い、情報を共有し、手術が安全且つ円滑に行えるよう、体制を整えています。その中でも、私たち看護師は患者様との関わりを大切にしています。手術当日に立ち会う看護師が「私がいいますので安心してください。」と声をかけ、覚醒時は「無事に手術が終わりましたよ。」と気持ちを込めて伝えていきます。手術を控えた患者様は、どのような手術であれ不安と恐怖感が伴います。患者様が、何にどのような不安があり、私達に何ができるのか、術前訪問は直接訴えを聴けるとても重要な時間だと思っています。ご高齢の方や環境の変化で認知機能が低下した患者様も多く、伝え方や接し方に注意をしています。

これからも、患者様の思いや不安をお伺いし、患者様が手術を受けて「今より良い状態を取り戻す」という意欲を引き出せるような関わりを目標に日々努力しています。



## 地域連携室

### 主なお問い合わせ内容

- 緊急を要する患者様のご紹介
- 外来受診予約
- 転院のご紹介
- 相談員宛のお問い合わせ
- その他 地域連携室宛のご相談

### お電話受付時間

平日(月～金曜日) 9:00～17:00  
第1・3・5土曜 9:00～12:00

直通TEL : 0274-37-2060

直通FAX : 0274-22-2288

Eメール : relation@kusunoki-hp.com

わたしたちが対応いたします



地域連携室 係長  
すかわ なみこ  
須川 奈美子



地域連携室 看護師  
きた ゆき  
喜多 由貴



地域連携室 事務  
ざわいり さちこ  
澤入 幸子



relation@

2024年秋号

2024年10月発行 Vol.8



医療法人社団三思会 くすの木病院 広報委員会  
〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡607-22  
TEL : 0274-24-3111 (代表)  
Homepage : www.kusunoki-hp.com